



神を掴む道 —— 道の地図

講話一・講話四十九の「読んだ範囲」から作った下書き / 66歳の私の歩みのために

1. 道筋 —— 求める → 推論する → 体験する → 内へ(講話一)

講話一の組み立てを、そのまま道筋にした。「足場」は、講話四十九の日課との対応で、見立て(仮説)。

1

求める 1～2頁

苦しみと必要から神探しが始まる。外面の成功では、永続する幸福は得られない。「時間がない」は言い訳。

足場: 始めること。日課1～2(礼拝と仕事)を、小さく始める。

2

推論する 3～4頁

万物の秩序から、背後に導く知性があると考え。ただし推論は入口にすぎない。

足場: 日課3 教典や原理原則を何節か読み、それを書き出す。

3

体験する 4～6頁

知的な理解を、神を実際に知る体験に変えるまで、礼拝し祈る。礼拝は行為の最高の形。

足場: 日課1 朝と夜に30分ずつ礼拝する。日課4 静かなところで神を感じる。

4

内へ 7～10頁

外に求めず、内なる神性=真の自己を見つける。外面の道(正しい行為)と内面の道(深い礼拝)の二つ。

足場: 日課5 神を感じた心の平静を日常へ。日課6 四つの時期に合わせて生活する。

2. 人生の四つの時期(講話四十九)—— 私は、いま第四期

いま 66歳

(一) 学びと訓練

5～25歳

(二) 家庭と社会

25～40歳

(三) 静かに・礼拝増

40～50歳

(四) 深い礼拝と奉仕

50歳～

第四期(50歳以降)は、人生の最後の部分として、できるだけ多くの時間を深い礼拝に使い、そこから得る英知と霊性をもって、人々のために社会的・霊的な奉仕をする時期とされる(402頁)。脚注では、強い意志をもつ人は、もっと早く入ってよい。

※ 本の見立てで、保証ではない。この一枚は、私がいま第四期にいるという「目印」を置くだけで、段階づけ(どこまで進んだか)は私が決める。





3. 毎日の足場(講話四十九の日課)

- 1 毎日、朝と夜に30分ずつ礼拝する。ご霊前でもお勤めの言葉を礼拝する。
- 2 毎日、夜は説法5回読み合わせ、教典10分読み合わせ、心を育む一章読み合わせ、原理原則読み合わせを行ってから就寝する。
- 3 教典や原理原則を何節か読み、それを書き出す。
- 4 静かなところで神を感じる。
- 5 日常の中に、神を感じた心の平静を持ち込みながら、体も養生する。
- 6 人生の四つの時期に合わせて生活をする。

4. 読む講話の順(題名からの見立て・仮説)

私が10/18 に貼った目次の題名から、日々の修行に近そうな講話を並べた。読んだのは講話一と四十九だけで、他は本文未読。順番は読む順ではなく目安で、決めるのは私。□は読んだ日の記入用。

土台 —— 目的と日々の心得

- | | | |
|--|--------------------|-------------|
| ☒ 講話1 | 人は初めどのようにして神を見つけたか | 読了(本文確認済) |
| ☒ 講話49 | 日常生活の心得と人生の生き方 | 読了(本文確認済) |
| ☐ 講話57 | 人生の目的は神を見つけることである | 読んだ日: _____ |

心を整える

- | | | |
|-------------------------------|-----------------------|-------------|
| ☐ 講話41 | 平常心—どんな変化にも動じない平静な心 | 読んだ日: _____ |
| ☐ 講話10 | 心のラジオから不安という電波障害を取り除く | 読んだ日: _____ |
| ☐ 講話8 | 自己分析—人生を支配する鍵 | 読んだ日: _____ |
| ☐ 講話24 | 誘惑をかわすには | 読んだ日: _____ |

習慣と意志

- | | | |
|-------------------------------|----------------|-------------|
| ☐ 講話50 | 習慣はあなたの主人か奴隷か | 読んだ日: _____ |
| ☐ 講話51 | 意のままに習慣をつくり変える | 読んだ日: _____ |
| ☐ 講話52 | ダイナミックな意志を養う | 読んだ日: _____ |



祈りと礼拝の体験へ

- | | | |
|-------------------------------|-----------------|-------------|
| ☐ 講話4 | 叶えられる祈り | 読んだ日: _____ |
| ☐ 講話19 | 真の至福経験 | 読んだ日: _____ |
| ☐ 講話20 | 宇宙意識に至る三つの道 | 読んだ日: _____ |
| ☐ 講話40 | 普遍的キリスト意識へのステップ | 読んだ日: _____ |

体のこと

- | | | |
|-------------------------------|-----------------------|-------------|
| ☐ 講話12 | 断食の肉体的および霊的効用 ※主治医に確認 | 読んだ日: _____ |
|-------------------------------|-----------------------|-------------|

始める・続ける

- | | | |
|-------------------------------|--------------------------|-------------|
| ☐ 講話53 | すぐ今から神を求めよ | 読んだ日: _____ |
| ☐ 講話54 | 時間を浪費するな—神こそあなたの求める喜びである | 読んだ日: _____ |
| ☐ 講話56 | 自分の神を見つけたか | 読んだ日: _____ |

5. 体調と休み

体調が赤の日(血圧が高い、眠れていない、気が重い日)は、日課を減らす・休む。休むことも一つの務めで、続けることのほうが大切。運動と断食は、本のとおりに主治医の処方前提。

限界

講話一・四十九は、スキャン画像から読んだ要約で、原本との突き合わせは未了。他の講話は題名のみ。この地図は、読んだ範囲の「目印」。日々の計画・期限・進捗は、人生設計モードで作る。

礼拝の行い方は書いていない。SRFのレッスンで教わるものと思われる(未確認)。